

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（概評）

【図画工作】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点1） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂出版	<p>(1) 図画工作科の目標を達成するために「自分の考えや感じ方を大切にする表現の追求」をねらい、6年間の系統性を意識し、バランス良く題材が配列されている。簡単なものから複雑なものへと各学年の発達の段階に応じた構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、季節及び行事に配慮した題材の配列がなされている。また、一つの題材で身近な材料や身体を使って活動している様子が示されている。地域や学校の実態に応じて活動できるような実践例が示される等の工夫が見られる。</p> <p>(3) 楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を育てるために、「ぞうけいあそび」「え」「りったい」「こうさく」「かんしょう」の五つの分野で構成されている。各学年に「え」が連続して配列されているところがあり、そこでは、めあてや使う材料が変化し、児童がその変化を楽しみ、興味・関心を高められるような工夫が見られる。</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 図画工作科の目標を達成するために「かんじる・ためす・つくりだす」をねらい、低・中・高学年の発達の段階に応じた題材が配列されている。6年間を通して同じ材料や用具に繰り返し関わることのできる構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、季節及び行事に適した題材で活動を選択できるようにしている。さらに、地域や学校の実態に応じて活動の仕方を考えられるように、一つの題材で屋内や屋外の活動等、複数の実践例が示される等の工夫が見られる。</p> <p>(3) 楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を育てるために「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」「かん賞する活動」の五つの分野で構成されている。五つの分野が交互に配列されているため、児童が多様な分野や題材の変化を楽しみ、興味・関心を高められるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂 出版	<p>(1) 場所や材料から発想したり、感じたり想像したりしたことを進んで表現できるよう、製作のポイントや製作過程を段階的に分かりやすく示し、児童が主体的に造形活動に取り組めるよう工夫されている。また、共同してつくる題材を設定したり、鑑賞活動の特設したりして、対話を通して発想や活動が深まるように構成されており、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 仕上がった作品が一目でとらえやすいように、大きめの写真で示し、写真を活用しながら色や形等の造形的な視点の理解につなげる工夫が見られる。また、巻末で、材料や用具の使い方等の説明が詳しく示されており、児童が生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 写真に添えられた文は必要な範囲で示され、完成作品や製作過程の活動の写真が中心に示されている。示された写真を手掛かりにして、児童が自分なりに発想したり構想したりすることを促すことで、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 各題材に、自己評価の観点や、他教科との関連が明示してある。また、「みんなのギャラリー」や5・6年の「つながる造形」では地域の造形活動や創造的な社会イベント、造形作家等が掲載され、「学びに向かう力・人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
116 日本文教 出版	<p>(1) 場所や材料との出会いや、感じたり想像したりしたことを意欲的に表現できるよう、特に発想や構想、製作のヒントを示し、児童が主体的に造形活動に取り組むことができるよう工夫されている。また、児童の表現や活動のよさを肯定的な言葉で支援したり、共同してつくる場面や、鑑賞活動での対話を促し表現活動に広げるようにしたりし、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 多様な製作活動の様子が多くの写真で示され、具体的にどのような表現活動をするかが分かり、造形的な視点の理解につなげる工夫が見られる。また、巻末で、材料や用具の使い方等の説明が詳しく示されており、児童が生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 製作過程の多様な活動の写真に添えて、児童の表したい思いや発想の広がりに関する吹き出し、多様な表し方を促す文等が多く示されている。示された写真や文等を手助けとして児童の発想を広げ、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 各題材に、学習したことを、今後の造形活動や日常生活に生かす視点が明示してある。また、「図画工作のつながりひろがり」では各地域の造形イベントや伝統工芸、造形作家等が紹介され、「学びに向かう力・人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂出版	<p>(1) 教科書のページ数を前回より増やし、多様な作品に触れられるようにしながらも、写真や図の重なりを減らし、情報を精選する等、掲載の仕方を考慮し児童の心に強く訴えようとする工夫が見られる。</p> <p>(2) 表紙には「わくわくするね」等の、発達の段階に応じたテーマが、教科書ごとに計6種類、大きくカラフルで立体感のある文字で書かれている。</p> <p>(3) 巻頭には、今後行う学習内容について、児童の活動の様子を掲載ページとともに示し、どこでどのような活動をするのか一目で分かる工夫がされている。また、学習を進めていく児童へのメッセージや、学習の三つのめあてに対応したキャラクターの紹介が書かれており、教科への興味・関心を高めようとする工夫が見られる。</p> <p>(4) 目次には、各題材が、五つの分野や教科で育てたい三つの資質・能力がどれに該当するのかをアイコンで示してある。また、使用する材料や用具、安全面、片付け、QRコードについての説明があり、一目で分かりやすく、児童が主体的に活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>
116 日本文教出版	<p>(1) 教科書のサイズを前回より大きいA4判とし、更にページ数を増やしたことで、全ての題材を見開きで扱い、題材を鮮明にとらえられるようにする等、児童の心に強く訴えようとする工夫が見られる。</p> <p>(2) 表紙には「たのしいなおもしろいな」等の、発達の段階に応じたテーマが、低・中・高学年ごとに計3種類書かれ、特に、教科名は書体や色が工夫された文字で書かれている。</p> <p>(3) 巻頭には、思わず息をのむような迫力のある作品や各学年で取り扱う学習内容が大きく掲載されている。また、想像力を働かせ、新しい価値を創造してほしいという児童へのメッセージが記述されているとともに、楽しく活動する児童の写真や作品が大きく取り扱われ、教科への興味・関心を高めようとする工夫が見られる。</p> <p>(4) 目次には、各題材が、五つの分野のどれに該当するか、アイコンによってすぐに分かる工夫が見られる。また、用具のマークや、めあての説明、道徳とのつながりを示すキャラクター等が提示され、一目で分かりやすく、児童が主体的に活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点4) 自分の思いを表現させるための基礎的な技能を身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂 出版	<p>(1) 巻末の「造形への引き出し」には、学年に応じた材料や用具の知識や使い方を写真やイラストで示している。また、各題材でも「安全」の囲みを設けて安全についての注意を説明する等、表現内容に適した材料や用具を安全に正しく使用する能力を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 学習のめあてに示した育てたい三つの資質・能力をそれぞれのキャラクターで示し、具体的なアドバイスや学習のヒントを投げかけることで、造形的なよさや美しさを表現するための基礎的・基本的な能力を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 発想、構想の力を伸ばすために、完成作品だけでなく、発想や構想の力が働いている場面を写真で掲載している。また、QRコードを掲載して、教科書に掲載された作品以外の多様な参考作品例を児童が見ることができるようにし、発想、構想する能力を育成できるような工夫が見られる。</p>
116 日本文教 出版	<p>(1) 「使ってみよう材料と用具」には、6年間の経験を見通した構成で材料や用具の基本的な使い方を分かりやすく示している。また、「きをつけよう」で安全で適切な扱いができるように配慮されており、表現内容に適した材料や用具を安全に正しく使用する能力を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 題材ページに造形的な見方・考え方を働かせることを促すキャラクターを設定し、造形的な視点で児童にヒントを伝えたり、児童の発見を認めたりする等、造形的なよさや美しさを表現するための基礎的・基本的な能力を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 児童が創造的に発想や構想をすることができるよう、手掛かりとなる多様な情景写真や参考作品を掲載している。また、より発想や構想を広げて深めることができるように、作品のコメントや製作過程のワークシートを掲載し、発想、構想する能力を育成できるような工夫が見られる。</p>

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点5) 児童が感性や想像力を働かせ、創造することの喜びを感じ取るために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂 出版	<p>(1) 体全体で材料とかかわる内容や地域や学校の実態に合わせた選択可能な内容及び I C Tやデジタルデータを活用して表現する内容等の充実が図られ、創造することの喜びを感じ取れる題材が設定されている。</p> <p>(2) 年間授業時数を考慮し、授業方法や時間数等を柔軟に扱えるようにするとともに、題材の軽重のバランスを整えており、時数への配慮・工夫が見られる。</p> <p>(3) 各学年に鑑賞題材が設定され、様々な美術作品が掲載されており、美術文化を実感的に理解できるようにして、鑑賞活動を促し、豊かな心を育成することができる工夫が見られる。</p> <p>(4) コンピュータを使ったプログラミング教育に関する事例を取り上げるとともに、コンピュータを使わなくても、ビー玉の転がり方を試してコースを修正する活動が設定されている等、プログラミング的思考を育むための工夫が見られる。</p>
116 日本文教 出版	<p>(1) 試行錯誤する内容や材料や場所から想像力を膨らませる内容及び生活経験を表現につなげる内容等、多様な活動の過程を写真で紹介しており、創造することの喜びを感じ取れる題材が設定されている。</p> <p>(2) 学校の実態に応じて、題材の選定、配当時間の調整ができる等、時間数を柔軟に扱えるようにしてあり、時数への配慮・工夫が見られる。</p> <p>(3) 巻頭の「教科書美術館」には、身の回りのものから美術作品まで幅広い図版が掲載されており、児童の感性に働きかけ、鑑賞活動を促し、豊かな心を育成することができる工夫が見られる。</p> <p>(4) 仕組みの動きを基に思い付いたものをつくり、動きを確かめながら修正する活動や、版に表す活動等において、手順や組み合わせを論理的に考える活動が設定されており、プログラミング的思考を育むための工夫が見られる。</p>